

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0376

(注)本稿は 2016 年 5 月 4 日から 7 日まで 4 回にわたり、「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.5.8

前田 高行

急上昇したチュニジア、下がる一方の日本:報道の自由度(2016 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その6)

目次	頁
1. 「World Press Freedom Index」について	2
2. 2015年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク	3
3. 2015年と2016年の自由度の比較	4
4. 2012年から2016年までの順位の推移	
(1)2012年と2016年の比較	5
(2)主要国の2012～2016年の推移	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民

族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第6回の MENA ランキングは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称:RSF)が発表した「報道の自由の指標2016(Press Freedom Index 2016)」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ:<http://index.rsf.org/#/>

1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択されたいくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成した50項目のアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2016年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに対する各国の対応ぶりを評価したものである。このため直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。なお、RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

よく知られている通り2011年には多くの MENA 諸国に「アラブの春」と呼ばれる政治変革の嵐が吹き荒れた。チュニジア、エジプト、リビア、イエメンなど各国で独裁体制が崩壊したが、エジプトではその後の選挙でイスラム勢力が政権を奪取したかと思うや、わずか1年後にはその揺り戻しとしての軍事独裁政権が復活しており、またシリアでは激しい内戦状態が続き、リビアやイエメンでも部族・宗派間抗争が多発するなど各国の政情はむしろ不安定の度合いを増している。このため MENA 域内でのジャーナリストの活動が危険に晒される状況は一向に改善される気配が見られない。

(MENA の世界平均順位は180カ国中138位！)

2. 2015年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク（末尾表 6-T01 参照）

MENA19カ国1機関(上記参照)の中で最もランクが高かったのはチュニジアであり、同国は世界180か国中の96位である。昨年「チュニジア国民対話カルテット」がノーベル平和賞を受賞したことが好感したのであろう。但し MENA トップとはいえ世界180か国の中では平均以下の下位グループにとどまっている。チュニジアに次ぐのがレバノンの98位であり両国以外のMENA 諸国はすべて100位以下である。MENA の世界平均順位は138位と言う極めて低いものである。

MENA3位はイスラエルの世界101位であり、これにクウェイト(世界103位)が続いている。カタールと UAE が世界110位台、オマーンとアルジェリアが120位台、モロッコ、パレスチナ自治政府およびヨルダンの3か国が130位台に並んでいる。MENA12位のトルコは世界151位である。

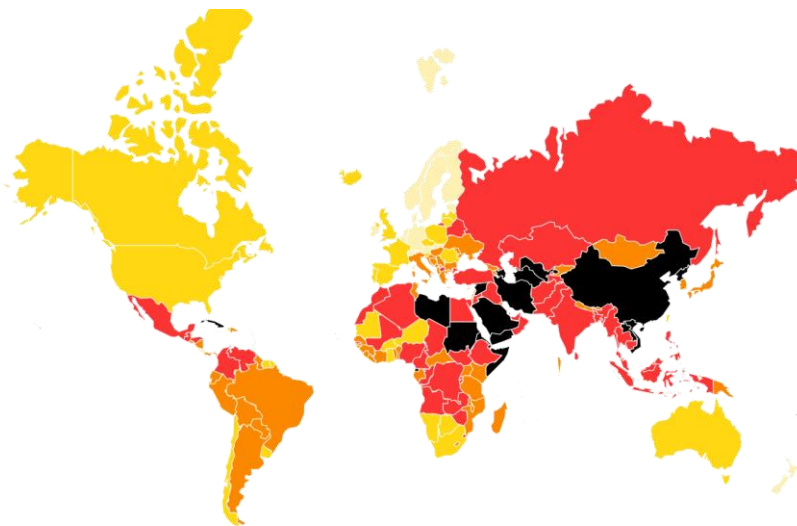
トルコと共に中東の大国とされているエジプト、サウジアラビアおよびイランはそれぞれ159位、165位、169位でイランは報道の自由度で世界180か国中の最低レベルにある。MENA で最も自由度が低いシリアは177位である。

ちなみに世界で報道の自由度が最も高い国はフィンランドで上位の多くは北欧の国々である。日本は世界72位であり米国(41位)よりかなり低く先進国の中では評価が厳しい。なお中国は世界176位であり、イランやイエメンよりも低く世界最低のエリトリアより4ランク上に過ぎない。

評価ポイントで見る世界1位のフィンランドのポイントは一桁の8.59であるのに対して(ポイントが低いほど自由度が高い)、MENA トップのチュニジアが31.60、最も低いシリアは81.35、MENA の平均は48.03である。フィンランドとMENA 各国の格差は非常に大きいと言える。(参考:米国22.49、日本28.67、中国80.96)

RSF のレポートではポイントに応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。

- (1) 白色: 0~14ポイント(Good situation)
- (2) 黄色: 15~24ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色: 25~34ポイント(Noticeable problems)
- (4) 赤色: 35~54ポイント(Difficult situation)
- (5) 黒色: 55~100ポイント(Very serious situation)



この色分け地図では白色が最も自由度の高い国家群とされ、続いて黄色、橙色、赤色と移り、最後の黒色は報道の自由度が非常に深刻な状況にある国々とされている。これを見ると MENA の国々の多くは赤色であり、最低レベルの黒色もサウジアラビア、イラン、イエメン、シリアなど5か国に達している。

(チュニジアが大幅にランクアップ、日本は急落！)

3. 2015年と2016年の自由度の比較 (末尾表 6-T01 参照)

報道の自由度のMENAの世界平均順位は前回の139位に対して今回は138位であり殆ど変わっていない。MENAの中では前回世界126位、MENA7位であったチュニジアが今回大幅にランクアップし、世界96位、MENA トップである。チュニジアは昨年「国民対話カルテット」がノーベル平和賞を受賞したことにより、先にも述べた通り「国境なきレポーター」から高く評価されたものと見られる。

チュニジアのように前回より順位を上げた国は8か国あったが、逆に順位を下げた国は10か国に達している。特にクウェイトは前年の90位から103位に、またアルジェリア及びリビアもそれぞれ119位→129位、154位→164位と大幅にランクを落としている。MENA19か国1機関の平均ポイントも昨年の46.27から今回は48.03と2ポイント近く下がっている。

MENA の主要国の世界順位とポイントの変化を見ると、エジプトは世界順位158位→159位、ポイント50.17→54.45であり、またトルコは世界順位149位→151位、ポイント44.16→50.76、サウジアラビアは世界順位164位→165位、ポイント59.41→59.72といずれも報道の自由度が悪化する傾向を示している。これに対してイランは世界順位173位→169位、ポイント72.32→66.52と世界ランク、ポイント共に改善している。

因みに日本は2015年のポイント26.95から2016年には28.67に悪化しており、世界順位も61位から72位に下がっている。日本のメディアは秘密保護法の制定などで不都合な報道が自主

規制されていることなどをランク低下の理由にあげている。なお米国は世界ランクを49位から41位にあげており、中国は昨年と同様の176位であるがポイントは73.55から80.96になっており、報道の自由度が悪化したと評価されている。

4. 2012年から2016年までの順位の推移

(MENA 諸国の殆どは世界順位130位以下で低迷！)

(1)2012年と2016年の比較 (末尾表 6-T02 参照)

2012年と2016年の MENA の世界順位を比較すると順位がアップした国は7か国であり、下落した国が13か国ある。5年間で MENA 各国の報道の自由度はかなり悪化したと言えよう。

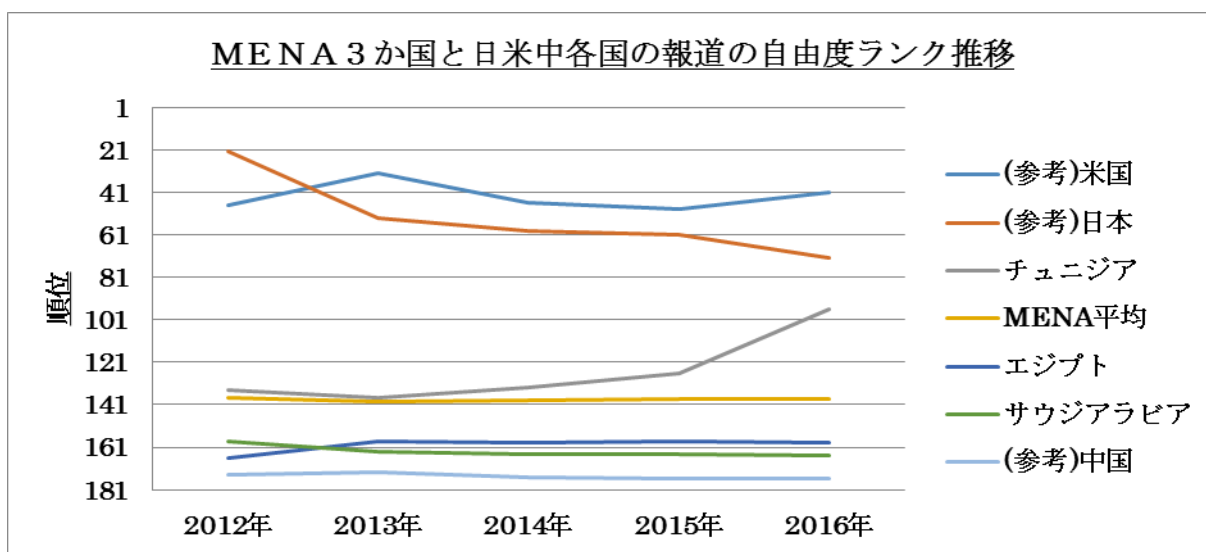
2011年にいわゆる「アラブの春」の運動が各国に起こり、報道の自由が進展するかに見えたが、実際には強権独裁政権が倒れた後、自由が確保されたのはチュニジアのみでありその他の国々はいずれも政治的混乱、更には内戦の勃発あるいは新たな強権政権の発足等によりむしろ報道の自由が脅かされる事態となっている。例えばリビアはカダフィ政権が倒れた後、各地の部族勢力が群雄割拠する状況で治安が極度に悪化しておりジャーナリストの安全が確保できない状況である。アルジェリアも国内の治安は良くなり自由な報道が妨げられている。シリア、イエメンなどは2012年以前から報道の自由度が世界最低水準にあり改善の兆しが見えない。

そのような中でエジプトはムバラク政権が倒れたのちに新政権に就いたムスリム同胞団がわずか1年でシーシ軍事独裁政権にとって代わり現在では政治体制が安定した状況にある。軍事政権下で報道の自由が阻害されていることもあり自由度の世界ランクは低いままであるが、むしろ政治の安定がジャーナリストの安全を保障する形となり自由度が改善されるという皮肉な結果になっている。

またクウェイト、サウジアラビアなど GCC 王政国家は、「アラブの春」の波及を畏れ、あるいはその後活動を活発化させているアル・カイダや IS(イスラム国)などの過激派テロの侵入を防ぐための報道管制を強めており、ジャーナリストの活動の自由が大幅に制限されている状況である。

5年間で最も順位を下げた国はクウェイトで2012年の78位が2016年は103位と大幅に後退している。その他イスラエル(92位→101位)、リビア(154位→164位)、オマーン(117位→127位)、サウジアラビア(158位→165位)など多くの国で報道の自由度が下落している。

(2) 主要国の2012～2016年の推移



ここではエジプト、サウジアラビ、ユニジアおよび MENA 平均順位に米国、日本および中国3か国の2012年から2016年までの推移を比較してみる。まず日本の場合2012年は世界22位で米国の47位をしのいでいたが、2013年には一気に53位に下落、32位に上昇した米国に逆転されている。その後米国は40位台に低迷しているが、日本は年々順位の低下傾向に歯止めがかからず2016年にはついに72位に落ち込んでいる。

一方 MENA 諸国の中でチュニジアは2012年から2014年までは MENA の平均値に近かったが、2015年、16年に急速に順位を上げ2016年には96位と日本に迫りつつある様相である。同じ MENA 諸国のエジプトとサウジアラビアは共に160位前後で並んでいる。ただ2012年はサウジアラビア158位、エジプト166位とサウジアラビアが上位であった、その後の4年間はずかではあるがエジプトの自由度がサウジを上回っている。中国は5年間を通じて最低水準にあり170位台を上回ることはない状況である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング 6:報道の自由度

国名	2016年		2015年		2016/2015	
	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位
アルジェリア	41.69	129	36.63	119	-5.06	▲ 10
バハレーン	54.86	162	58.69	163	3.83	1
エジプト	54.45	159	50.17	158	-4.28	▲ 1
イラン	66.52	169	72.32	173	5.80	4
イラク	54.35	158	47.76	156	-6.59	▲ 2
イスラエル	32.58	101	32.09	101	-0.49	0
ヨルダン	44.49	135	42.07	143	-2.42	8
クウェイト	32.59	103	30.84	90	-1.75	▲ 13
レバノン	31.95	98	31.81	98	-0.14	0
リビア	57.89	164	45.99	154	-11.90	▲ 10
モロッコ	42.64	131	39.19	130	-3.45	▲ 1
オマーン	40.43	125	38.83	127	-1.60	2
パレスチナ自治政府	42.93	132	41.01	140	-1.92	8
カタール	35.97	117	35.35	115	-0.62	▲ 2
サウジアラビア	59.72	165	59.41	164	-0.31	▲ 1
シリア	81.35	177	77.29	177	-4.06	0
チュニジア	31.60	96	38.68	126	7.08	30
トルコ	50.76	151	44.16	149	-6.60	▲ 2
UAE	36.73	119	36.73	120	0.00	1
イエメン	67.07	170	66.36	168	-0.71	▲ 2
(MENA 平均)	48.03	138	46.27	139	-1.76	1
世界 1 位(フィンランド)	8.59	1	7.52	1	-1.07	0
日本	28.67	72	26.95	61	-1.72	▲ 11
米国	22.49	41	24.41	49	1.92	8
中国	80.96	176	73.55	176	-7.41	0
世界最下位(エリトリア)	83.92	180	84.86	180	0.94	0
(国数)		180カ国		180カ国		

MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング6: 報道の自由度

国名	世界順位				
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
	179カ国	179カ国	180カ国	180カ国	180カ国
アルジェリア	122	-	121	119	129
バハレーン	173	165	163	163	162
エジプト	166	158	159	158	159
イラン	175	174	173	173	169
イラク	152	150	153	156	158
イスラエル	92	112	96	101	101
ヨルダン	128	134	141	143	135
クウェイト	78	77	91	90	103
レバノン	93	101	106	98	98
リビア	154	131	137	154	164
モロッコ	138	136	136	130	131
オマーン	117	141	134	127	125
パレスチナ自治政府	153	146	138	140	132
カタール	114	110	113	115	117
サウジアラビア	158	163	164	164	165
シリア	176	176	177	177	177
チュニジア	134	138	133	126	96
トルコ	148	154	154	149	151
UAE	112	114	118	120	119
イエメン	171	169	167	168	170
(MENA 平均)	138	139	139	139	138
世界1位	フィンランド/ノルウェー	フィンランド	フィンランド	フィンランド	フィンランド
日本	22	53	59	61	72
米国	47	32	46	49	41
中国	174	173	175	176	176
世界最下位	エリトリア	エリトリア	エリトリア	エリトリア	エリトリア